

# 第51回 体育大会

## 保護者入場のなか三年生青組が二連覇

# インスピタイズ

発行

尚志館高校生徒会

文責

安楽 竹吉 宇都  
橋口 加治屋 木尾



↓大きな盛り上がりを見せた三年生青組の演舞

九月九日(金)〜十日(土)、令和四年度体育大会が行われた。今年度も新型コロナウイルスの影響があったが、応援に来られない保護者の方々のためにYouTube Live配信を行った。さらに二日目は入場制限を設けた上で、三年生の保護者のみ入場可能として開催した。例年と同様に競技短縮やマスク着用等の制限はあったが、無事成功に終わった。

二日間開催によりプログラム数も増え、新種目も実施されたことで大いに盛り上がった。

優勝は三年生率いる青組！応援団をはじめとした選手たちの活躍で、二年連続の優勝となった。

優勝は三年生率いる青組！応援団をはじめとした選手たちの活躍で、二年連続の優勝となった。

た。青組団長の図師礼恩さん(普通科三年)は、「高校生活最後の体育祭が終わりでした。今年は二日間開催ということもあり、とても、盛り上がりのあるものとなりました。これまで、出場生徒の一人として参加してきた体育祭。しかし、今年、応援団長の仕事を行う中で、今までにない達成感を感じることができました。それは、厳しく、大変な練習を乗り越えて優勝を掴み取ることができたからです。また、応援団をはじめ、青組生徒が一丸となって競技に参加、応援してくれたことも、今回の優勝に繋がったと思います。体育祭を通じて、学科を乗り越えて一つにまとめることができた絆を今後も大切にしていきたいです。そのためにも、残り高校生活は悔いの無いよう全力で一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。」と優勝の喜びと今後の抱負を語った。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

## 男子バスケット部 優勝旗奪還

後輩たちにひと言、しっかりと練習して次の地区大会も優勝し、二連覇、そして三連覇と続いていけるよう頑張ってください。

## バドミントン部、チームで掴んだ準優勝!

バドミントン部に拍手を送りたい。



チームワークが重要な新種目「台風の目」

一つにまとめることができた絆を今後も大切にしていきたいです。そのためにも、残り高校生活は悔いの無いよう全力で一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。」と優勝の喜びと今後の抱負を語った。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

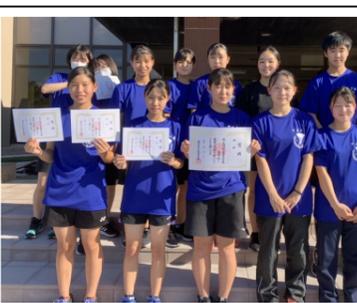
五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

五月十日(火)、十一日(水)の二日間に渡り大隅地区大会が行われました。昨年春、先輩たちと挑んだ地区大会は惜しくも準優勝という結果で終わり、また、秋開催予定だった地区大会は、コロナウイルス蔓延の影響により中止となり、今大会が同メンバーで挑む最初で最後の地区大会となりました。準決勝で苦戦したものの、メンバーそれぞれが今大会に懸ける思いはより一層強く、チーム一丸となって実力を遺憾なく発揮し、優勝を勝ち取ってくれました。コロナウイルスの影響により思うように行かなかったことも多かったと思いますが、最後まで思いを貫き、最後に集大成を見せてくれました。

## 二回目の南九州大会出場

六月十六日(木)〜六月十九日(日)に沖縄県沖繩市の沖繩市コザ運動公園陸上競技場で行われた第75回南九州高校総体陸上競技大会に、本校から谷山愛彩さん(普通科二年)が女子八〇〇Mに出場しました。結果は惜しくも予選敗退。二年連続のインターハイ出場は叶いませんでした。谷山さんは取材に対して、「県総体、南九州総体を通して、どんなコンディションでも自分の力を発揮することの難しさを痛感しました。去年インターハイに四〇〇Mで出場し、今年度は八〇〇Mでの出場を目指して頑張りました。しかし、思うような走りができず悔しい結果になりました。ですがその分改善点も見えたと思います。この反省を生かして、来年のインターハイや国体で活躍出来る選手になれるよう頑張ります」と語りました。

六月二日(木)〜四日(土)に行われた県高校総体では女子団体がベスト8に進出。一年生は男子部員も多く入部しており、今後は男子の活躍にも期待したい。



秩父宮賜杯 第75回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 南九州地区予選大会

日時：令和4年6月16日(木)〜19日(日)

会場：沖縄市コザ運動公園陸上競技場

追記 九月十四日(水)〜十六日(金)に行われた県新人陸上競技大会において四〇〇Mで3位に入賞し九州大会に出場を果たした。

今回の生徒会新聞は本来一学期末に発行する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う分散登校や台風十四号接近に伴う自宅待機、さらに中間考査の考査期間により、なかなか思うように編集作業ができず、発行が遅れましたことお詫びします。今号を最後に生徒会のメンバーに代替わりとなりますが、これからも生徒会新聞「インスピタイズ」をよろしくお祈りします。今までありがとうございました。

普通科三年 安楽 生織  
普通科三年 竹吉 海人  
普通科三年 A組 宇都 菜々美  
普通科三年 A組 橋口 摩利亜

特進科二年 加治屋 怜果  
普通科二年 木尾 優仁